

人新世を見据えたSDGs達成に資する街区・集落のネットポジティブデザイン

主催 日本建築学会 地球環境委員会

中島 恵理 (環境省大臣官房環境計画課)
中村美和子 (MW環境デザイン)
横尾 昇剛 (宇都宮大学)

主旨

最後の氷河期の終わった約1万年前から続く「完新世」は、人間の過剰な活動により地球環境が破壊され、現在、既に人類中心の「人新世」が到来しているとも言われる。地球温暖化対策なども含め、人間活動集積の場である居住空間の再構築デザインは人類の大きな課題である。

地球規模の複合的課題に対する国際的な取り組みとしてSDGsが開始され、人間居住空間(仕事場・交流場も含む)の革新的展開が求められるが、そのためには、従来の建築技術分野の複合デザイン、多分野とのインテグレートが必至である。

その中で、現在、NZEBs(ネットゼロエネルギー建物)から、NPEBs(ネットポジティブエネルギー建物)への思考転換が進められているように、節約、削減のネガティブ思考や、マイナスをゼロにするネットゼロの発想から、よりポジティブ思考の革新的創造となる技術・デザインが注目されている。

更に、この発想を集合体・群としての街区・集落に拡大し、異常気象・災害対応、エネルギーの創造、資源循環等の技術が、高齢化・福祉、コミュニティ等も含めて地域全体の空間の中で、長期的に補完し合い、恩恵をもたらすような**ネットポジティブデザイン***が求められる。

街区・集落は都市や農村における細胞・セルであり、生活者、企業者等にとって拠点となる身近な空間として、より都市や農村全体の更新・創造の発展につながる領域である。

人間居住の持続性を確保するために、街区・集落レベルでの複合的な技術のネットポジティブデザインの提案を期待したい。

※<https://doi.org/10.1080/09613218.2015.961046>

応募要領

①課題

人新世を見据えたSDGs達成に資する街区・集落のネットポジティブデザイン

②応募資格 本会個人会員(準会員を含む)、または会員のみで構成するグループとする。なお、同一の個人または代表名で複数の応募をすることはできない。

※未入会者、2020年度会費未納者ならびにその該当者が含まれるグループの応募は受け付けない。応募時までに入会および完納すること。

③募集内容

- (1) 街区(数街区でもよい)、あるいは集落を設計対象とする。
- (2) SDGsの17項目の複数項目に亘る組み合わせを行い、街区・集落レベルでの建築分野におけるSDGsでの社会的貢献を果たす画期的な提案とする。
- (3) 異常気象・災害対応、エネルギー、環境性能、水・食の自給率向上、資源循環、仕事、高齢化、コミュニティ向上等の人間居住の持続性を担保するための複合的デザイン提案を期待する。
- (4) 優先的な取り組み事項について、2030年及びその先を展望した具体的なロードマップを示す。

④審査委員(敬称略、五十音順)

委員長 糸長 浩司(日本大学/地球環境委員会委員長)
委員 岡部 明子(東京大学)
川久保 俊(法政大学)
篠原 雅武(京都大学)
高井 啓明(竹中工務店)
高口 洋人(早稲田大学)

⑤提出物 下記3点を提出すること(使用する言語は、日本語または英語とする)。

(1) 応募申込書

以下をA4判1枚に明記すること(自由書式)。

- ① 提案名(提案内容を的確に表す簡潔なタイトル)
- ② 代表者の氏名(ふりがな)・会員番号・所属
- ③ 共同制作者全員の氏名(ふりがな)・会員番号・所属
- ④ 上記中の事務連絡担当者の氏名(ふりがな)・会員番号・所属・連絡先住所・電話番号・E-mailアドレス

(2) 提案する図面*

以下をA1判1枚に収める。用紙は縦使いとしパネル化しないこと。

- ① 提案名(提案内容を的確に表すタイトル)
- ② 提案の内容(意匠図、平面図、説明図など)
- ③ 提案の意図と概要(コンセプト、SDGsの項目など)
- ④ ロードマップ(2030年まで、或いはそれ以降も含む)

※注意: 提出図面には、氏名・所属、建物名称など、応募者が特定できる情報を記載しないこと。

※新型コロナウイルスの影響により、図面の用意が困難な場合はPDFデータのみ提出も可とします。

- (3) 上記(1)および(2)のPDFファイルを収めたCD-RまたはDVD-R

⑥提出期限 2020年5月25日(月)17時必着

→提出期限延長: 2020年6月25日(木)17時必着

⑦審査会 審査は二段階で行う。

- (1) 一次審査会(非公開) 2020年7月中旬予定
入選作品候補を選定する。
- (2) 二次審査会(非公開) 2020年8月中旬予定
候補者による10分程度のプレゼンテーションを実施し、各賞ならびに佳作を決定する。

⑧表彰

最優秀賞 1点: 賞状および副賞50万円
優秀賞 3点以内: 賞状および副賞10万円
佳作 若干: 賞状および副賞5万円
ただし、審査結果において該当作品なしとする場合がある。

⑨審査結果の公表等

入選作品は審査経過・講評とともに『建築雑誌』および本会Webページに掲載する予定である。

⑩その他

- (1) 応募図面および関係書類は返却しない。
- (2) 応募作品の著作権・特許権は応募者に帰属するが、『建築雑誌』・本会ホームページへの掲載や日本建築学会編の出版物に用いる場合は、無償でその使用を認めることとする。
- (3) 課題の内容に関する質問は受け付けない。

[提出先]

(一社)日本建築学会事務局「技術部門設計競技」係
〒108-8414 東京都港区芝5-26-20
TEL. 03-3456-2057 [担当: 榎本]